

平成 18 年度日本環境安全事業ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会
議事要旨

1 開催日時 平成19年3月27日(火) 10:00～12:00

2 開催場所 ホテルアジュール竹芝13F 飛鳥の間

3 出席者委員 永田委員長、伊規須委員、田中委員、田辺委員、長谷川委員、細見委員、
宮田委員、若松委員

4 議題 公開

(1) 平成18年度における各施設の操業について

日本環境安全事業(株)が進める5事業について、資料に基づき、現況について説明。
主な意見等は次のとおり。

- ・ 労働者の安全等についてもっと報告するべきである。
- ・ 豊田事業所の作業環境の状況を勘案すると、コンデンサの解体は、改善を行うべきである。また、作業環境については、各事業所共通の課題として情報の共有化を図るべきである。
- ・ 「安全」「安全で確実」「安全を確認」といった表現が多数見受けられるが、こうした書き方は誤りになる。リスクの数値をもって「リスクの低減に努めた」という記述をすべきである。
- ・ 豊田事業所の事故・トラブルの件数と比してヒヤリハットの件数が少なすぎる。リスクの低減のためには、もっとヒヤリハットを出すべく努力する必要がある。

(2) 北海道事業及び北九州第2期事業の進捗状況について

日本環境安全事業(株)が建設を進めている2事業について、資料に基づき、現況について説明。

主な意見等は次のとおり。

- ・ 北海道事業の試運転においては、先行事業で試運転と実運転では作業環境中PCB濃度にギャップがあるという前提に立ち、実運転の想定濃度を出して、それに見合う対策をしていく必要がある。
- ・ 北海道事業の試運転の工程表の中に、監視円卓会議や事業部会の記載をすべきであり、事業を理解してもらうよう努力すべきである。

(3) その他

なし

5 問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社 事業部 事業企画課

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会事務局 担当:梅野

Tel:03-5765-1919 Fax:03-5765-1940 e-mail:jigyobu@jesconet.co.jp